



爽風 2023

加津佐っ子の心を見つめる教育週間！

23日(金)の授業参観・学級部会をもって、教育週間が終わりました。数年ぶりのPTAバレーから始まった1週間でしたが、学校支援会議等の開催もでき、多くの保護者と地域の皆様に来校していただきました。ご出席ありがとうございました。

子供たちにとっても、たんぽぽの会の読み語り、図書館見学(2年)、市内社会科見学(4年)、代かき(5年)等の特別な活動も体験でき、価値ある学びができました。同時に本校の教育テーマでもある、関わってくださった方々への「ありがとう」を伝える活動にもつながられました。

私には全校児童に対して話をする場がありました。自分の母親の死から考えたことについて、身近にいた人がいなくなる悲しさ、幸せな人生だったのかという問いと答え、そして人は役割や意味をもって生まれてくるものであり、子供たちも自信をもって生きてほしい、簡単に言うとそのような内容でした。

道徳科の授業参観でも、命や身近にいる人を大切にすることを取り上げ、自らを考える機会を設けていたかと思えます。子供たちは真剣に考えていたことと信じています。

梅雨開け間近の大雨…

昨日も大雨について早期注意情報が出ていました。先週金曜日は6校時終了後の風雨の強さに、保護者や学童へ迎えの連絡、児童の引き渡し等職員で対応しま



した。今後も天候の急変は十分考えられます。市教委の指示も受け登校や下校判断をすることもあります。『安心メール』の配信に留意していただき、どうぞご理解とご協力をお願いします。

近年の気象災害の規模から危険度を表す言葉が増え、程度の大きさがわかりにくく感じるものもありますが、自治体(南島原市)が出す警戒レベルの情報や気象庁の〇〇警報、〇〇情報などの言葉にはアンテナをはっておく必要がありますね。(「記録的短時間大雨情報」「線状降水帯」等も)

大雨時に限って体育館横まで停車しての降車としています。これは普段と違い道路まで車が並び、事故等の危険性も出てくる考えからです。通学バスを優先(2便の出発もあるため)させていただきますよう安全への留意と共にお願います。

「あったか言葉」や「ありがとうカード」の取組

最近、言葉の荒れが目立ちます。不用意な発言、呼び捨て等があり、やはり自分が言われたらいやだと思える言葉は言わないことに尽きます。学校では思いやりの心の育成として言葉の醸成に力を入れています。運営委員会主導で取り組んでいる「ありがとうカード」の取組は、友達に感謝の気持ちや良い行いを伝えるカードです。放送で紹介されるのですが、紹介された子は非常に良い表情を見せています。今後も自分や友達のいい行いに目を向ける視点を増やすことで、さらに友達を受け入れ、優しい気持ちが育っていくものと考えています。

また、先日運営委員会は「あったか言葉」の大切さを伝える集会を開いてくれました。一人一人にあったか言葉を考える時間を設けてくれたことは貴重な時間でした。その後、以下の言葉を紹介してくれました。

ありがとう 大丈夫? いっしょにしよう
どうぞ がんばれ ○○さんのおかげ



それぞれが個性を持っている子供たちですので、言葉の定着は少しずつ少しずつでしょうが、どうぞご家庭でも「あったか言葉」や「ありがとうカード」の取組に関心をもっていただければ幸いです。

本に親しむ子供たち

天気予報には傘マークが目立ちます。田植えをすませた5年生は苗の生育に雨は大事と考えていると思います。

外遊びができない時(週末も)は、読書をおすすめします。まずは自分の好きなジャンル、興味のある事象に関わる本からスタートするといいですね。読書は知識を増やし、語彙力も付いてきます。

読み聞かせに来てくださった保護者の方々は、食い入るように絵本を見ている子供たちの姿が思い浮かべられるでしょう。ぜひご家庭でもあの表情を見てほしいものです。

プロ野球の巨人や大リーグでも活躍した松井秀喜氏は、高校時代の野球部の監督から集中力をつけるために読書を勧められ、通学時の電車は読書の時間だったそうです。様々なジャンルの本に触れたことが、集中力はもちろん、思考力や判断力の基になったのは、その後の活躍と彼の人間性からの推測できます。身の回りにいる大人が子供の成長のために今できる声かけの一つかもしれません。



7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。
～大人みんなで子どもの心を育てましょう! 「あいさつします。わたしから!」～

